

2012年 5月 8日

北海道知事

高橋 はるみ 様

さようなら原発 1000 万人アクション北海道

倉 本 聰
小 野 有 五
麻 田 信 二
西 尾 正 道
雨 宮 処 凛

泊原発 1, 2 号機の再稼働の中止を求める要請書

貴職におかれましては、日頃より、道民生活の維持向上にご尽力されていることに対し敬意と感謝を申し上げます。

さて、泊原発 3 号機が 5 月 5 日に定期検査に入り、これにより全国のすべての原発が運転を停止しました。しかし、政府や電力会社は、ストレステストの「1 次評価」や即席の「安全基準」によって、運転停止中の原発の再稼働をすすめようとしています。

北電は 4 月 23 日、泊原発沖の日本海周辺にある海側と陸側の活断層が最大長さ 164 ㎞にわたって連動することを想定した「耐震安全性評価」を原子力安全・保安院に提出しました。長周期の地震波では従来の想定地震動を上回ったにもかかわらず、その数値も明示しないまま、「安全性に支障はない」としました。また、北電は「陸と海の活断層はつながらない」と一方的に決めつけて、164 ㎞全体が一つにまとまって動くと言う想定を行わず、原子力安全・保安院から再度の検討を求められています。北電は、常にこのような甘い認識・想定でその場しのぎの対応を繰り返しています。

福島第一原発では、原子炉内部の状況も把握できず、事故は収束する見込みも立っていません。また、放射能汚染は広範囲に及んでいます。

福島原発事故の徹底した原因究明と安全対策が求められています。また、防災対策の重点地域も拡大し、少なくとも「地元合意」は 30 ㎞圏内の自治体と、万一事故が起こればきわめて多数の人々に深刻な影響が及ぶ札幌市を含めるべきと考えます。

私たちは、泊原発の廃炉と再生可能な自然エネルギーへの転換を求めます。

つきましては、泊原発 1, 2 号機の再稼働について、以下の事項を要請いたしますので、誠意をもって対応されますようお願い申し上げます。

< 要請事項 >

1. 泊原発 1, 2 号機の「再稼働」を認めないこと。少なくとも、東京電力・福島第一原発事故の原因究明と事故を踏まえた新たな安全基準に基づく完全な安全確認が終了しない中での「再稼働」には同意しないこと。
2. 「再稼働」の是非については、地元 4 町村のみならず、少なくとも 30 ㎞圏内の自治体と札幌市の意向を尊重して判断すること。
3. 再生可能な自然エネルギーへの転換を積極的に推進すること。

以 上